o**∰**€

o**∰**€

1

つ

命

講演会を

刺賞を設けて可点以上の一間組合は東京から裁断に裁縫科の講師・辻正道で裁縫競技会を開く。大正十四年、行裁縫競けの武ビルで独っての裁縫競技会には初めての裁縫競技会を開く。

'年,」

なてよ職るる かもか人。のア 人か職ろ た職の人外

整して型紙を作さい洋服を解い苦労したのご 服を借 型紙を作る い法 の習得に発服 るり 輸の

には裁断士 公ている。 金銀銅賞を

の吸収をはから で帰国させ、 で帰国させ、 で帰国させ、 をミニスター をミニスター

職 つは洋はイ このころ、見るった。徒弟のった。徒弟のころ、見いかん。 服 . П 多くの たからだれる。運 裁 ど先輩 人前 型に影響にいる手を要している。これでは一般の部分をできます。 0 か見制 職 いの職 る経ず お

仕込ま ること つだけ、多く 法か多 教 ・弟っ 方で ħ らか とあけ 子があっ 職な転た を設 る

松

技術

大正二

開いた

服」の質をなが、神戸の る 歴史がたそ  $\hat{\mathcal{O}}$ ノ取り ' Ŋ る あ神組 ŧ る戸んの

洋服先進地に派遣、アイ

知ま原

のり一昭

[元町·夢街道] ⑩

洋服の話⑩ 技 祈 Ø)

伝 承

照 彦

接腕えダ 学利 普 か た。柴田 市 の親 交割

、の取り る かあ法 直た伝

かは国

どの消

よ服

う商

にか

習ら 得の

し技

えてて

い本

つの

を、

佐藤伝三郎

一が

年 通

に神戸

ズ正五年に、裁断講習の る 繊断講習会を は仙次郎を講師

服たの

◇元町1番街商店街振興組合 TEL331-7850 4月19日(水)10時~19時

#### ◇凮月堂ホール(有料) TEL321-5555 もとまち寄席「恋雅亭」

4月10日(金)

桂 優々 笑福亭 喬若 桂 米左 桂 枝女太 笑福亭 福笑(主任) 桂 團朝

前売券3月11日より凮月堂で発売

#### ◇こうべまちづくり会館ギャラリー(無料) IE361-4523

4月6日(木)~4月11日(火) 丹水会展(水彩)

4月13日(木)~4月18日(火) 第62回 木曜会絵画展(油彩·水彩)

4月20日(木)~4月25日(火) 第24回 いくた15人会展(油彩)

4月27日(木)~5月2日(火) 倉敷美観地区を描く(パステル)

# ◇元町映画館(有料) IEL366-2636

がら裁断の

・ 柴参を戸同をの、服学出を組 田加開の組迎大大商校身皮合

4月1日(土)~4月7日(金) 『桜』&『第六感』(2本立て上映)

4月1日(土)~4月14日(金) 『雪女』・『ひと夏のファンタジア』

4月8日(土)~4月14日(金) 2016年アンコール上映

4月8日(土)~4月21日(金) 『ホワイトリリー』

4月15日(土)~4月21日(金) 『エルミタージュ幻想』

4月15日(土)~4月28日(金) 『ママ、ごはんまだ?』・『フランコフォニア』 『テラスにて』・『グリーンルーム』

4月22日(土)~5月19日(金)

『牯嶺街(クーリンチェ)少年殺人事件』 4月29日(土)~5月5日(金)

ハイテンション映画祭

4月29日(土)~5月12日(金) 『私の少女時代』

はない は を した映画館 は を した映画館 は を りがな に した い の ス タート と製がティ あれま こた。完成した作品として映画俳優にデ ちゃ で元日 「や児童 街 催北 乙仲 配通バー 今 町 いほのぼ 通モニ ろ役で の回の回 町 る 0) 映 映 一画館で を桜に 0 映 0 る。映かで の装 町 は の楽部 るア は を身物し宮ばさ 町た Ŕ 4 1 役がん

# 栄町通クリーン【竹門

栄町通まちづくり委員会は3月10日(金) 10時から10時30分まで、栄町通を中心に、ゴ ミ拾いと不法ビラ撤去、自転車・バイクなど への不法駐輪警告チラシ取り付け作業など、 栄町通クリーン大作戦を実施した。参加者は、 (元栄海3丁目協和会)奈良山喬一、(神戸市 住宅都市局)坂田竜一、(パナホーム)堀裕臣・ 北川重雄·櫻野雅樹·鈴木京子、(広島銀行)宮 浦晋、(トマト銀行)杉本沙織、(兵庫県信用組 合)永田裕章・石田由香里、(三鈴マシナリー (株) 佐治孝雄、(神明倉庫) 小林孝洋、(株)イー エスプランニング)三河晶子、(大一産業)松 井一実・蓮池秀樹、(銀泉興産)福田時雄、(ま ちづくり会館)小椋辰海、(新光明飾) 西村友 博·藤田直之、(神戸)辻洋一、(佐田野不動産 (株) 佐田野宏之、以上21名のみなさんでした。 毎月第2金曜日午前10時、栄町通6丁目佐田 野不動産前集合の上、実施しています。お気 軽にご参加ください。



# 出估亡元町 83 296 **発 行:**みなと元町タウン協議会 **住 所:**〒650-0022 神戸市中央区元町通3-13-1協和会館内 **発行人:**奈良山喬一 **編集人:**岩田照彦 **電話・FAX:**078-391-0831

# 『地区計画の目標』を考える

まちづくりコンサルタント・合資会社ゼンクリエイト 根津昌彦

なと元町タウン地区で、地区計 画の内容を具体的に議論して いく上で、一番最初に共有しなければ ならないのは、私たちの街がどういっ た姿となることを目指して計画を定 めるのか、つまり「目標とする街の姿」 である。

2015年9月に神戸市が定めた「神戸 の都心の未来の姿(将来ビジョン)」で は、都心に備える8つの軸として、景 観、にぎわい、生活・居住、産業、観光・ 文化、防災、環境・エネルギー、交通の ワードを掲げている。いずれの軸も、 みなと元町タウン協議会が進めるま ちづくりに大いに関係があると言え るが、とりわけ、これからタウン協工 リア内の土地の使われ方や建物の姿 に関係するのは、

景観:あちこちで神戸を感じられ るまちへ

にぎわい:次々と新しい人が訪れ、 新たな出会いが生まれる まちへ

生活・居住:人がつながり、まちに 溶けこみ、自分らしい生活が おくれるまちへ

**観光・文化**: 五感に響く心地良さと、 おもてなしのあるまち、そし て、港町としての歴史と文化 の息づくまちへ

防災:不測の災害に対しても対応 可能な、しなやかで強いまちへ の5分野ではないかと考える。

区計画の目標を考えるとき、この 5つの分野で神戸市が示した姿の 実現も見据えながら、タウン協工リアと しての街の姿を掲げることができれば と考える。今後の議論のために、みなと 元町タウン地区の地区計画の目標の私 案を示したい。以下である。

「当地区は、神戸を代表する伝統的 な中心商業地である元町商店街と南京

町商店街を包含した、東西は鯉川筋か らハーバーロード、南北は海岸通から 中央幹線に囲まれた地区である。近 年、マンション建設が進む栄町通 ハーバーロードや、テナントの入れ変 わり・建替えが進行している元町商店 街、レトロビルを中心に飲食・ファッ ション等個店が集積する乙仲通など、 阪神・淡路大震災から20年を経過した まちは、変化を受け入れてきた。また、 近年は、みなと元町タウン憲章を補完 するべく、新たに①神戸の都心に訪れ る魅力、暮らす魅力をさりげなく「魅 せる」、②安心した暮らしや、もしもの ときのために「備える」、③街並みに心 躍り、周辺とのつながりやわかりやす さで、もとぶらを「楽しむ」、というま ちづくりの基本方針を掲げて、地域の 商業者・事業者・住民らが、課題解決に 向けて積極的に取り組んでいる。

地区計画は、建築物等について 用途や形態の原則を定めるこ とにより、オフィスとマンションとの 協調・共存の実現、ゆとりと賑わいの

接や都心居 住のライフ スタイルを 享受できる 地域コミュ ニティの形 成、防災安全

 $\mathfrak{S}$ 



第296号(1)

性の向上に向けた建替えの促進を目 標とする。

2017 年度がはじまった。タウン協工 リア内で土地や建物を持ってい る皆さんと、まずは将来の街の姿、地 区計画の目標から意見交換を進めて いきたい。エリアが広範囲であるた め、町丁を分けながら地道に会合を重 ねていくということが、一番の近道で はないかと思う。急がば回れである。 元町壱番街商店街では、オーナー会が 立ち上がったとのこと。まちを守り発 展させていくためには、オーナーの皆 さんのお考えが大変重要であり、街の 将来像を共有できてこそ実を結ぶ。い よいよ、はじめの一歩を踏み出す時が 来たようである。



にぎわいをリードする元町夜市

# 海という名の本屋が消えた(41)

平野義昌

#### 探偵小説(4)

元町の菓子と喫茶史の一部を紹介する。 3丁目〈神戸凮月堂〉の創業は1897(明治30) 年。吉川市三が東京銀座「米津凮月堂」で洋 菓子修業をして、のれん分けを許された。吉 川家は廻漕問屋だったが、明治になり経営 を足袋商、洋服商に移行していた。市川左右 太(2丁目の写真館)の西洋の生活様式がま すます普及するという助言で、長男・市三が 上京した(本稿第32回参照)。喫茶室の開始 は1917(大正6)年、夏季だけ飲み物とアイス クリームを提供した。川崎造船所社長・松方 幸次郎が山本通の邸宅から馬車で出社途中 に立ち寄り、ストロベリーアイスクリーム 馮を好んで食べたというエピソードがある。 アイスクリームは新鮮な牛乳と卵を豊富に 使い、いちごジャムは自家製、市三が修業し たフランス方式だ。後年詩人の竹中郁が「良 心的な仕事」と讃えている。

《大きなウェハース二枚ではさんだアイス クリームをいつでもたべられると思うと、 わたくしは神戸に生まれて幸だったとさえ 思う。》註1

1988(昭和63)年に元町通1丁目に本店を 移した〈ユーハイム〉、創業者はドイツ人の カール・ユーハイム。修業の後、1909(明治 42)年中国青島(チンタオ、当時ドイツ領)で 独立した。ドイツが第一次世界大戦に敗け、 カールは日本の収容所で5年間捕虜生活を 送った。20(大正9)年釈放、22(大正11)年、横 浜で菓子と喫茶の店「E・ユーハイム」(Eはエ リーゼ夫人の頭文字)を開業した。しかし、翌 23年関東大震災で被災、知人を頼って神戸に 移住した。店の再建は困難、雇われの身にな らざるを得ない、トーアホテルから話がきて いる……、悩みながら三宮の街を歩いている と、ロシアのバレリーナ、アンナ・パブロワに 会う。横浜時代の顧客で、神戸で公演中だっ た。ちょうどレンガ造りの洋館の前。

《話は当然のこととして、被災のすさまじさ から始まり、次第に現実化して、家探し。職 探し。――そこまで来るとパブロワ夫人は、 カールの口を塞ぐような仕種で、至極無造 作にこういった。

「そんなの心配ないわ。この家でお店開きな

(中略、戸惑うカールに)

「いいえ。何でもいいからやるのですよ。や ればできるものです。ぜひ、この家でお店を 開けばいいのです」

それは、なにか舞台の上でいっている台 詞のようなさわやかな格調高い声に聞こえ た。》註2

アンナは洋館と何の関係もないし、資金 のことも話さない。彼女は被災して弱気に なっているカールに発破をかけたのだ。彼 は資金作りに駆け回り、公的救済金借入や 支援者によって開業することができた。こ の年の11月1日神戸で外国人によるカフェ 「ユーハイム」が誕生した。

《すでに四十六ヵ国の外国人が住んでいた といわれる神戸である。とくに欧州系の外 人にとっては思いがけぬ本場の味、オアシ スの出現であった。客の九割までは、まだ外 国人であった。》計2

ケーキ8銭、コーヒー15銭、ピラミッド ケーキ(バームクーヘン)1ポンド2円。最も 安い店のコーヒーが5銭だった時代だが、 ユーハイムの味を求めて日本人客も増えて いく。ここのココアは注文を受けてから、 チョコを鍋にかけ砂糖を加えウイスキーを 浮かす。「舌を焼くほど熱い」ので、女給さん が必ず「お熱いですから」と注意する。それ に比べると、紅茶はややぬるめ、居留地で働 く人たちはこの温度差を面白がり、楽しみ、 ぬるめの紅茶のことを「なんだかユーハイ ムの紅茶になったな」と形容した。

淀川長治は中学生時代からこの店に通っ ていた。

《神戸の昭和初め、大正の終わりころの、海 岸通りにあったユーハイムはチョコレート と洋菓子の店であったが、ここも店の中に 喫茶店を持っていて、ここの喫茶店の楽し さは、ゆったりとした籐椅子で入口から一 歩あがったところから板敷きになっていて、 テーブルの横には新聞、雑誌が積み重ねら れていて、何十分どころか二時間くらいそ この籐椅子に腰かけたままコーヒー一杯で それらの新聞、雑誌に読みふけっていても、 店員はいやな顔ひとつしなかった。》註3

淀川はここの外国雑誌とビスケットが目 当てだった。ビスケットの人気は高く開店 前から並ぶ人がいた。神戸の人たちは西洋 の味に親しんでいた。

《気の早い客は九時四○分ごろもう入口に 立っている。ここのビスケットがとても美 味しいからである。そしてその入口に立っ ていて思わず店内を覗くと、一階の喫茶店 のところに三つか四つのテーブルを並べ、 それに一枚の大きな白い布をかけて、十人 あまりの店員、それに店に働くすべての人 たちにコーヒーまたは紅茶そしてビスケッ トを食べさせてから店を開くのであった。 これがとても楽しい風景だったので、よく 入口のドアのガラスごしにその様子を覗い たものである。》註3

本稿第2回で、堀辰雄と竹中郁の交流を書 き、ユーハイムでのひと時を紹介した。1932 (昭和7)年のこと。

《夕方、私たちは下町のユウハイムという古 びたドイツ菓子屋の、奥まった、大きなス トーブに体を温めながら、ほっと一息つい ていた。そこには私たちの他に、もう一組、 片隅の長椅子にドイツ人らしい一対の男女 が並んで凭りかかりながら、そうしてとき

どきお互いの顔をしげしげと見合いながら、 無言のまんま菓子を突っついているきり だった。》註4

ちょうどクリスマス・イヴ、店頭では外国 人客がひっきりなしに5円10円という金額 で菓子を求めていた。堀が宿泊したホテル は1泊朝食付き3円だった。今少し堀の文章 世界に浸っていただきたい。

《私はなんだかこのまんま、いつまでも、 じっとストーブに温まっていたかった。し かし、私は旅行者である。何もしないで、こ うしてじっとしていることも、後悔なしに は、出来ないのである。

やがて、若いドイツ人夫婦は、めいめい大 きな包みをかかえながら、この店を出て 行った。JUCHHEIMと金箔で横文字の描い てあるガラス戸を押しあけて、五、六段ある 石段を下りて行きながら、男がさあと蝙蝠 傘をひらくのが見えた。私は一瞬間、そとに は雪でも降りだしているのではないか知ら と思った。ここにこうしてぼんやりストー ブに温まっていると、いかにもそんな感じ がして来てならなかったが、静かに降りだ しているのは霧のような雨らしかった。》註4 谷崎潤一郎も関東大震災から避難してき て、この店を愛し、『細雪』(1943~48年『中央

公論』『婦人公論』連載)に登場させている。 焼き菓子「バームクーヘン」はドイツの伝 統菓子であり、ユーハイムの代名詞である。 カールは捕虜時代(1919年)、広島物産陳列 館(後に原子爆弾爆心地となる建物)での俘 虜製作品展覧会に出品した。これが日本最 初の「バームクーヘン」。淀川はこの菓子も 好物だった。当時「ピラミッドケーキ」と呼 ばれていて、牛乳をかけて食べた。「バーム クーヘン」と改められるのは戦後のこと。

ユーハイムは太平洋戦争の空襲で焼失す る。終戦直前にカールは亡くなり、戦後、エ リーゼ夫人はドイツに強制送還されてしま う。50(昭和25)年、従業員たちが店を再興し、 53(昭和28)年に夫人を神戸に迎えた。71(昭 和46)年、夫人は神戸で天寿をまっとうした。

註1 竹中郁「書ききれぬ味のガイド」(仲郷三郎編『味そぞろある記』のじぎく文庫1960年所収) 註2 顯田島一二郎『カール・ユーハイム物語』(新泉社、

3 | 淀川長治「喫茶店のこと」(『ユリイカ』1987.4月号初 『淀川長治集成IV映画の(道)、人生の(道)』芳賀書店 註4 堀辰雄「旅の絵」(『風立ちぬ・美しい村・麦藁帽子』角

川文庫所収) 〈神戸風月堂〉参考文献 『神戸風月堂物語』(神戸風月堂、 1977年)、江後迪子『神戸凮月堂の百年』(同、2002年)



ユーハイム店舗(『カール・ユーハイム物語』所収)



松方幸次郎の馬車が描かれている 『こうべ元町100年』(もとまち地域PR委員会、1971年)所収

# | 出来事ファイル (№17-4) |

## ■宮崎みよしさん「桜」で主演

元町主催の「児童絵画展」や「芸術家た ち展」、乙仲通モニュメントに元町北通バ ナー製作など、アーテイストとして多彩な活 動を展開する宮崎みよしさんが、吉田勝二 監督の映画「桜」に、主演者として映画デ

いて語るほのぼ のとした物語。 「桜」は4月1 日(土)~7日 (金)まで、13 時10分から、 元町映画館で。

ビューした。桜

を通じ命につ



# ■連合会HPリニューアル

元町商店街のホームページが1月30 日、多言語対応型にリニューアルされた 項目も、なが一い商店街、ハイカラ、老舗、 イベントなどに分類、ヒストリーでは140 年の歩み、すずらん灯、日本初の商品、ジュ ラルミン街、大震災の項目に。イベント欄に は最近の事業を紹介、店舗検索も、元町マ ガジンや写真ギャラリーで魅力的な画面 に変身している。



## ■1番街にインフォメーションセンターオープン

1番街商店街振興組合では、このほど 空店舗(ボン・グー跡)を活用してインフォ メーションセンターを開設した。現在は、パ ンフレット類をかざるだけの施設になって いるが、今後デジ

設置、1番街から 6丁目まで、各種 事業のPRなど 広く元町商店街 全体のPRに取 り組む、人員を配 置することも検討 している。



# **■**アバディーン市長 神戸タータン視察

スコットランド地方名物のタータン・ チェック。神戸開港150年記念に、同柄代理 店の石田洋服店(石田原弘・代表)と共に港 の青や六甲の緑など5色の格子柄で「神戸 タータン」を設定、商品化することに。2月18 日(土)スコットランド港湾都市アバディーン 市のジョージ・アダム市長が、商品開発を手 掛ける6丁目のスタジオキイチを訪問した。



# ■バナーに「神戸タータン」登場

神戸タータン活用商品は、瓦せんべい サブレ、ビーチサンダル、ハンカチ、缶マッチ、 メンズハット、マグカップ, iphoneケース、 ポーチ, Tシャツ、シューズなどにひろがっ ている。こうした商品は3月3日~5月21 日まで神戸ロフトで「神戸タータンフェア」

として販売され るのに合わせ、 元町商店街で は2月23日か らバナーを掲 出した。



# ■北播磨新酒パレード

2月17日(金)元町6丁目商店街を会 場に、北播磨県民局は「北播磨の酒もとま ちバル」と銘打ち、山田錦発祥の地元酒造 会社の新酒即売会を行った。会場では、赤 毛氈が敷き詰められた上に新酒の銘柄が ならび、地元産のおつまみも。あたりが暗く なるにつれ、新酒の香りに導かれて訪れる 人も増え、散策しながら地域の銘柄をのど



# ■津波避難訓練

元町商店街は3月10日(金)、地域おた すけガイド憲章により、津波避難訓練を 行った。

各店舗は消火器を店の前にだして元町通 4丁目の浜屋前に集合、そこから花隈公園 に上がり防災運営本部を設置、介護施設 と連携し車椅子を必要とする避難者の訓 練方法や、台車を利用した場合の活用方 法などを検証、緊急時への備えを確認した。



## ■ブラタモリに亀井堂総本店登場

2月25日(土)午後7時30分から、まち の地形をさぐるNHKの番組「ブラタモリ」 に、元町6丁目商店街の亀井堂総本店が 登場した。開港にあわせ、固くて和風味 だった煎餅の材料を卵と小麦粉にきりか え、食べやすくソフトな味にしたてた亀井 堂総本店自慢の瓦せんべい。その味がクッ キーやケーキにひろがり神戸のハイカラな 洋菓子文化を生み出した、と。



### ■みなと元町現代写真展

元町商店街では神戸開港150年を記念 して、昨年9月~12月末日締切で、第1回「み なと元町現代写真展」を開催した。応募総数 63点の中から最優秀賞に吉田弘明(84)さ んの、若い女性がハーバーランドを背景に躍 動する「頑張ったよ」。小林保(66)さんの元 町商店街でパフォーマンスシーンをとらえ た「楽しいハロウイン」が連合会会長賞に。

